

## 学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 関有知高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和5年5月23日(火) 15:00~16:50
- 3 開催場所 関有知高等学校 会議室  
開催にあたり、委員による授業参観を実施した(14:20~15:00)
- 4 参加者

会 長	横山 さつき	中部学院大学短期大学部社会福祉学科 教授
副会長	澤田 通直	下有知中学校 校長
委 員	森 有生	関青年会議所 理事長
	平田 尚	しもうちふれあいまちづくり協議会 顧問
	武田 由美子	特別養護老人ホーム ハートフル 総務主任
	今井 典子	下有知保育園 主任保育士
	宮之上奈佑	本校PTA 会長
	浅野 欽一郎	せき・まちづくり NPO ぶうめらん代表理事 (欠席)
	古田 勇貴	関市役所市民協働課 事務員 (欠席)
学校側	杉江 祐子	校長
	山田 哲志	教頭
	中薮 淳	事務長
	名和 憲一	教務主任
	大野 広行	図書・情報管理主任
	塚原 秀幸	研修主事
	長尾 真由里	生徒指導主事
	藤原 章斗	特別活動係長
	福山 美苗	保健主事
	辻 祥平	進路指導主事
	吉野 典子	生活デザイン科主任

### 5 会議の概要(協議事項)

- (1) スクール・ポリシーと令和5年度教育指導の重点及び学校経営計画について
- (2) グループディスカッション

#### ①「生活デザイン科の魅力を発信するには」

意見1：中学生への魅力発信については、検定により取得した資格が将来どのような進路につながるのかをわかりやすく説明できるとよい。

⇒7月に実施する学校見学会の学科説明会を利用したい。

意見2：生活デザイン科の魅力発信のため、生徒から志望理由を聞き取るなど、状況把握を

してほしい。

⇒1年生に本校の受験理由を調査する。

意見3：保育や福祉の現場は、きつい・汚いと言われているが、法の整備が始まり改善されつつあるため、就業への不安を取り除くためにも現状を正しく伝えてほしい。

⇒現場の具体的な変化について教えていただきたい。

意見4：保育園との交流は、理解を深めるためにも段階を追って複数回実施するとよい。

⇒協力をしていただける保育園があれば実施したい。

## ②「生徒を育てる課外活動（ボランティア活動、部活動、アルバイト）にするには」

意見1：社会に出るといふ観点からも、アルバイト経験は生徒が得るものがある。

⇒学校生活では多様な生徒がいるが、アルバイト先で厳しく社会を教えてもらえていることはありがたい。

意見2：アルバイト先から勤務態度等のフィードバックがあれば、生徒の良いところを把握できる機会でもあるがどのように考えているか。

⇒アルバイトは保護者の責任で行われるものであり、学校はそこまで関与していないが、今後検討する。

意見3：組織の中で人間関係を構築できる生徒を育ててほしい。

意見4：社会に出て大切な、礼儀などの人間性を身に付けさせてほしい。企業は元気で明るく前向きな生徒を求めている。

⇒部活動やボランティア活動だけでなく、学校行事を通じてコミュニケーション能力を育てていく。

## ③「本校に期待するキャリア教育」

意見1：進学先は、ほぼ東海圏の学校だがどのように考えているか。

⇒生徒のニーズが中京地区内の学校で十分かなえられる状況にある。

意見2：離職することなく、継続する力をつけてほしい。

⇒インターンシップ等企業との交流を充実させることでミスマッチを減らしたい。

意見3：離職率低下を目的に、職場見学の時間を増やすとよい。

⇒地域企業の協力を得ながら、行事の内容をより良いものにしていきたい。

## (3) 関有知マルシェについて

## 6 会議のまとめ

意見1：この会議を通して自分が所属する組織の役立つ多くのヒントが得られた。高校とWIN-WINの関係を築いていくことができるのは非常によい。

意見2：地域行事にボランティアとして参加してくれる生徒がいることはありがたい。地域で生徒を育てている意識を醸成してほしい。

- ・1回学校運営協議会では、全委員より今年度の本校の学校経営計画を踏まえた学校運営基本方針について承認が得られた。
- ・第2回学校運営協議会では、関有知マルシェについてご意見をいただきたい。